

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	来客数の動き	・店舗への来客数が前年を上回り、2019年の新型コロナウイルス感染拡大前の実績に戻りつつあることから、商売のペースは大幅な回復基調になっていると認識している。
	◎	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・当店は観光立地なので、新型コロナウイルス感染症の影響で観光客が少なかったが、感染状況が落ち着いてきたので来客数が増えている。
	◎	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・1組4人以上の宴会も増えてきており、宴会以外でも問合せや来客が順調である。
	◎	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宴会等の直近予約が入り始め、動きが出始めている。
	◎	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・県民割を中心に、宿泊の急激な回復は継続している。緩やかではあるが、料飲部門では少人数の宴会等も動いてきている。
	◎	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍の影響も収まってきたことから、明らかに外出時の客の動きが活発になってきている。店舗も混雑しているところが日に日に増している。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・家に居ることに慣れたためか、外出をおっくうがる人が多い。ただし、若い世代は外出をちゅうちょすることなく計画をしているようである。
	○	一般小売店 [土産]（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク後に危惧された感染爆発もなく、新型コロナウイルス新規感染者数が低く抑えられているためか、観光客が比較的出てくるようになってきている。4月から再開されている修学旅行や遠足も引き続き多い。一般観光客も、徐々に会社や友人に配るための土産を購入するようになってきている。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス発生前の同月と比較して、若干マイナスではあるものの、売上は回復傾向にある。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今年は梅雨が6月に明けて猛暑になったため、この何日かで調理麺等がものすごい販売量となっている。その分、弁当等は少し落ちているが、冷たい麺が多く売れているので、今は良いのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で、売上は103%、来客数は96%、客単価は107%となっている。6月に入り商材の値上げが続き、客単価は大きく伸びた一方で来客数は微減で推移しており、売上としては微増になっている。
	○	家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月は27日に最速の梅雨明けとなり、エアコン、冷蔵庫が売れ、前月比で111%、前年同月比で109%と、好調に推移している。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ボーナスや年金支給等、お金が動く時期に、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて、外食しやすくなったようで客の動きがある。
	○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・教育旅行の団体客来訪が順調に進んでいる。ブロック割の効果もあり、その他の客層もある程度は伸びてきている。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・支店の販売量や新聞記事を見ても、増加傾向にある。ただし、先の予約なので、新型コロナウイルスの感染状況次第では取消しが発生することに注意しなければならない。
	○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・5月に引き続き6月も動きが良く、新型コロナウイルス発生前の売上に戻っている。
○	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数も減少し、個人客や学生団体が動き始め、回復傾向になってきている。	
○	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・建設業は比較的仕事も増えて、忙しくなっている。飲食業、旅客業も来客数が増えているようである。	
○	設計事務所（所長）	それ以外	・周りを見ても、人の動きが活発になっている。新型コロナウイルス感染症によるもろもろの行動制限も解除され、新型コロナウイルス発生前の生活に少しは戻りつつある。ただし、価格高騰の影響がどのくらいあるか、今後の見通しは立てにくい。	

○	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・前月まで検討していた物件に対する引き合いが、やっと契約段階になりつつある。店舗も秋からの契約で埋まりつつある。客はいまだ慎重なようで「また新型コロナウイルス感染症で封鎖されるのではないか」という心配があるようである。動きが少々良くなって来ていると思う。
□	一般小売店〔精肉〕 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いてきたように見受けられる。毎日の新規感染者数も少ない数で、上下している。地域の各種団体の会議やイベントなども始まるような機運になってきている。客も少し安心して買物できているのではないかと。
□	一般小売店〔青果〕 (店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症をきっかけに、ラーメン屋、飲食店等で、ぼつぼつと閉店するところも出始めている。
□	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は低水準で維持され、行動制限が緩和される状況下で、来客数も改善してきている。ただし、比較的堅調な富裕層に比べ、中間層の購買意欲は必ずしも改善してきているとはいえない。
□	衣料品専門店 (統括)	来客数の動き	・現在、商店街に来る客は多少増えてきているが、なかなか売上に結び付く行動にはなっていない。
□	乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス関連の行動制限緩和で、ホテル、ペンション等は、来客がそこそこきているので、良くなってきている。ただし、飲食店、一般企業等の景気が良くなって、客が来ている様子はないので、まだ、そこまで良くなってはいないのではないかと。当社は観光地を控えているので、ホテル関係が良くなれば、徐々に良くなっていくと思うが、前月は少し上がり調子だと思ったが、今月は落ち着いてしまって、そんなに景気が良いと感じることはない。
□	その他専門店 〔靴小売業〕 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきたが、我々のメインターゲットである高齢層の来客が今一つ鈍い。外出を控えていた客の出足の回復を待たなければならない。店によっては回復しているところもあるが、全体としては鈍い状態である。メーカーの生産が少しずつ正常へ向かいつつある。
□	通信会社(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は収束傾向だとは感じているが、地方では顧客の広告代理店業界までは好影響が皆無で、いまだに厳しい状況が続いている。
□	通信会社(社員)	単価の動き	・全てとはいわないが、メディアの情報も含めて物価は上昇していると感じている。生産者は、値上げをしたくてしているのではないと思うので、消費者と生産者の両面を公平に判断する必要がある。
□	通信会社(局長)	お客様の様子	・来店客からは、「食品値上げや電力高騰等により、消費行動を抑えねば」という声が聞かれる。
□	ゴルフ練習場 (経営者)	単価の動き	・物の値段が上昇しているため、買物は慎重になっている。
□	ゴルフ場(従業員)	販売量の動き	・原材料や資材価格の高騰により、利益を圧迫する懸念がある。
□	競輪場(職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者は徐々に減少しつつあるが、来場者数は横ばい状態である。
□	その他サービス 〔自動車整備業〕 (経営者)	単価の動き	・街中ににぎわいが出てきているが、大方の消費は依然として低調である。車検整備や板金塗装等のメンテナンス売上は厳しく、客単価は当分回復しない。ボーナス支給時期の7～8月に期待する。
□	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・資材調達に困難な上、物価高騰でコスト増加になっているので、全体的に動きは鈍い。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕 (営業)	お客様の様子	・原材料価格の高騰が続いており、品種も多岐にわたっている。最初の見積書提示から時間がたつほど金額が上がってしまい、見送りや未成約となるケースが続いている。
▲	一般小売店 〔茶〕 (経営者)	来客数の動き	・物価上昇の影響を不安視する動きや、必要な物以外は買わない等、買い控えの動きが出てくるのではないかと。
▲	スーパー(総務担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきているのに、来客数が伸びない。

▲	スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・生活関連、電気、ガソリン、食料品等の値上げの影響が顕著に出てきている。プレミアム付商品券等の購入はするが、シビアに利用している感じがする。
▲	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・当地は、自動車関連の下請企業が多く、生産量が減っているため、経営が厳しいようだと感じる。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車販売は、受注から納車までの時間が掛かり過ぎるせいなのか、販売台数が伸び悩んでいる。5月と同様、整備部門の売上でしのいでいる状況である。
▲	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・車両の納期遅延状況は少し解消されてきたが、各種値上げの影響で来店数が減少してきている。また、商談件数も減少してきている。
▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・今から2年前に新型コロナウイルスが発生し、子どもたちが学校を休んだ時期の2～3か月間は、かなり良くない状況だった。そのときのムードに非常に似ていて、客の動きが余り良くない。
▲	住関連専門店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染対策の緩和により、外出機会が少しずつ増えているようである。客は小売業以外のところでお金を使っているが、物価上昇により全体的な景気は下がっている。
▲	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・ここ数日の猛暑で、一気に夏物が動き出したが、それまでのマイナスをカバーするまでには至らない。天候の変化の幅が激し過ぎることや、いまだに商材の供給が安定しないため、需要があっても供給できない。
▲	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・ほとんどの仕入商材で、ひっきりなしに値上げがある。スーパーに行っても食品、日用品の値上げは当たり前で、これでは買物や出費を控えるようになるのは当然である。
▲	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	それ以外	・急激な気温上昇で体がまだ天候に慣れてないため、熱中症に対する警戒感などから人々の外出が減ったりして、3か月前と比べて消費は減っている。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・事業所給食部門は、新年度から新規受託先を加えたことで、前年と比べて、売上は増加で推移している。ただし、食材費や経費の上昇により、収益面では前年水準を維持することが難しくなっている。献立等で工夫や改善を加えているが、価格が上昇する品目が増えてきて、逃げ場がなくなっている。
▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・他キャリアからの乗換え以外は、販売数が減り続けている。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・必要最低限の物しか買わなくなっている。出費がしたくてもできないという方が結構いる。
×	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者は減少傾向だが、ロシア、ウクライナ戦争による世界的なインフレで、生活必需品が値上げとなっており、かなりの消費者が買い控えをしているようである。また、梅雨明けが極端に早く、今月後半は連日の酷暑のために買物客が非常に少ない。
×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・政治決断で外出制限が比較的緩和されてきて、さらに今月は年金支給月だったが、当店の顧客の多くを占める年金受給者の高齢者は外出の規制緩和がなされたにもかかわらず、暑い日が続いているせいもあり、本当に来ない。この先どうなるか、明日が全く見えない。
×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・マスク必須の状態のままでは、外食産業に客が戻ってこない。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・6月に入り、タクシー利用客が激減している。電車から降りてもタクシーを利用せず、駅前レンタカーを利用する客が増えている。月の後半からは、利用客がやや増えつつあるが、現在でも、夜の帰宅時間は早く、深夜の利用客は少ない。

	×	通信会社（経営者）	単価の動き	・日銀の異次元の緩和ももはやアリ地獄状態になっている。超低金利に甘んじてきた企業はぜい弱になり、今更金利を上げられない。日本政府も同様である。日銀もいつまで指し値オペを続けるのか。代償を払うのは国民なので、業績など良くなるはずがない。サプライチェーンの崩壊で、いまだに流通が滞っており、仕入コストばかりが上がっている。薄利で企業は一層ぜい弱になり、消費者には皮肉にも脱デフレのはずが、デフレマインドを一層助長する結果を招いている。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・オイルショックからの狂乱物価再来が頭をよぎる。相次ぐ商材の値上げは、消費者一人ではあらい難く、負担増の解消へ、政治の力を問う選挙になる。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・前月に比べて受注が増加している。特に、半導体関係の取引先からの受注が増えている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の場合、50社ほど取引先があるが、各社が少しずつ上向いている感じがするので、良くなっている。
	○	社会保険労務士	取引先の様子	・人の動きは良くなってきている。車で移動する郊外型のイベントやショッピングセンター等では、ガソリン価格高騰の影響からか、苦戦しているところもある。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は大分下火になってきたが、まだまだ心配である。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたので、秋口から伸びるかという期待はあったが、受注量は減るような感じで、全く良い方向が見えてこない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この数か月で、若干良くなった会社もあるし、落ちたままの会社もある。総合的には余り変わらない。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足による影響が否めない。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化はみられない。順調に受注件数や金額が確保されている。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物価が上がっているにもかかわらず、価格を据え置いて対応しても、前年売上のクリアが難しい。経費の増加分を吸収できていない。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の組立ライン停止が常態化している。
	▲	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・夏物家電のエアコン、扇風機等の物量はこのところの暑さ続きもあり、前年並みの物量を確保しているが、前年のようなオリンピックイベントもないので、大型テレビや白物家電の物量は10%ほど落ちている。燃料価格高騰もあり、輸送費等が高くなり、利益は薄くなっている。
	▲	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・時期的に受注が増えるものの、建築資材等を始めとして全体的な物価の上昇の影響を感じている。
	▲	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・定期保守、スポット業務共に、業務量は復調してきている。ただし、資材や燃料費等の値上がり分を全て反映させた値上げは、受け入れてもらえない契約がまだ多くあり、利益率が低下している。
	▲	広告代理店（営業担当）	それ以外	・当社も含めて、銀行への返済が始まる時期にきている。思うように売上が上がらない状態での返済は、かなり厳しい。取引先も同様であり、今後は倒産が増えるだろう。
▲	経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルス禍がほぼ収束したと判断でき、消費マインドが高揚し始めたとみられる。ただし、収入が余り増えず、可処分所得の充足感が乏しいので、消費需要が盛り上がっていない。梅雨時の天候も災いして、観光地、観光スポット等への人出も少なく、地域経済も息切れしている。	
▲	司法書士	受注量や販売量の動き	・やや悪くなっているといってもよいほどの落ち込みである。	

	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。今期の公共工事発注額は前年比35%減少と厳しく、当社受注も前期比10%減少と、新型コロナウイルス禍の影響を受けて、厳しい経営状況である。今後の発注に期待したい。
雇用 関連	◎	*	*	*
(北関東)	○	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・新型コロナウイルス禍の影響は出ていたものの、官庁関係等では夏のボーナスが支給されたこともあり、公共料金の値上がりを前に購買力が伸びている。衣料品、食料品、生鮮食料品等も値上げ前に、購入している。この暑さで、食品、飲料もかなり伸びてきている。また、公共事業なども伸びているので、ここに来てやや上向きかとみている。
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・派遣依頼数が、新型コロナウイルス発生以前の水準に戻っている。また、新規事務所開設に伴う求人も増えてきている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月の新規求人は、前年同月比22.5%増と、直近3か月は同水準で推移している。特に、飲食サービス業は、来客数増加に対応するための求人が提出されている。
	○	学校〔専門学校〕 (副校長)	周辺企業の様子	・消費行動が活発化しており、新店舗も出店している状況のため、景気は回復傾向にある。
	□	人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・派遣業務が安定していない。長期派遣が短期に変更になったり、短期契約が延長される等、安定しない状況にあるが、平均すると変わらない。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—